

4年「心の信号機」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1文で表します
 - 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問い合わせを入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
 - 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
 - つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方を広げ、展開後段の問い合わせを多角的な視野から考えることができるようする
 - 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「捉え」「よさ」「大きさ」「態度」「意欲」を考えさせる
 - つなぎ発問②**…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化したり、生活とのつながりを実感できたりする問い合わせを入れ、終末の振り返りの手がかりにする
 - 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る
- 振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる
- ※振り返りの4観点は、次のようになっていますが、ABCDによって書く観点の数が異なります。
- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
 - ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
 - ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
 - ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※これに合わせて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

※すべての観点について書かせるか、先生がいくつか指示をして書かせるか、または、子どもが選んだものを書かせるか、お決めください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	人を思いやるとは どういうことか考えよう	誰に背中を叩かれると 親切にできるのか	親切にすることは どうして大切なのか考えよう
導入	思いやる心があると、人に親切にすることができると言います。今日は、人を思いやるとはどういうことか考えてみましょう	今日は、どんな心の力があれば、人に親切にすることができるのか、考えてみましょう	人に親切にしましょうと言います。では、親切にすることは、どうして大切なのか考えてみましょう
展開前段	○目の不自由な人を見かけて、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう ○道路の向かい側にいたとき、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう ○男の人の後姿を見送っている間、「ぼく」は、どんなことを思っていたでしょう		
つなぎ発問①	○目の不自由な人に対して、「ぼく」の、どんなところがよかつたのでしょうか ○「ぼく」が、男の人に親切にできたのは、どんな心があったからでしょう	○「ぼく」が、男の人に声をかけることができなかつたは、どうしてでしょう ○「ぼく」が、引き返そうと思ったのは、どんな思いからでしょう	○目の不自由な人に対して、「ぼく」の、どんなところがよかつたのでしょうか ○「ぼく」が、男の人に親切にできたのは、どんな心があったからでしょう

	○どんな人を見かけたら、親切にすることができるでしょう	○「ぼく」は、「誰かに思い切り背中を叩かれたように」決心して男の人に声をかけました。誰に叩かれたのでしょうか	○人に親切にすることは、他に、どんなことがあるでしょう
展開後段	人を思いやるとは、どういうことでしょう	どのような心の力があれば、人に親切にできるのでしょうか	親切にすることは、どうして大切なのでしょう
つなぎ発問②	人を思いやる心は、みんながもっています。その心を使って、人に親切にできたら、どんな気持ちになるでしょう	力は鍛えなければなりません。心の力も同じです。お話に出てきた「ぼく」も、とても鍛えられました。次は、きっと、誰かに背中を叩かれいで親切にできるでしょう	みんなが、誰かに親切にすると、どんな学級、どんな学校、どんな地域になるでしょう
振り返り			